



R3年度 公開講座報告

講座1 『個別の指導計画』作成のスキルアップ講座

当校教務主任 浅野 晋敏

7月26日(月)

◎『個別の指導計画』を具体的に書くための考え方やポイントについて、いくつかの演習に取り組みながら学びました。

具体的というイメージがよく分かりました。今まで抽象的な言葉でごまかしていた部分もあるので、演習を通して実際のイメージをしながら考えることができました。



作成における目標や手立てを書く際に気を付けるポイント(具体的、動詞の使い方)がよく分かりました。



地域の先生方の感想より

講座2 ソーシャルスキルトレーニングについて学ぼう

当校教諭 田代 真希

7月28日(水)

◎高等部の生徒が自立活動の授業で学んでいる『コミュニケーション』の課題について、ねらいやテーマ、方法についてワークを行いながら学びました。

児童生徒が自分から周りに合わせていくというSSTの視点を初めて知りました。
児童生徒の社会性の発達を促し、仲間どうしでコミュニケーションをとれる集団への成長を目指していきたいです。



仲間づくりゲームは集団としての意識づくりに有効だと思いました。



地域の先生方の感想より

講座3 児童生徒の実態把握

岐阜聖徳学園大学 教授 安田和夫先生

7月29日(木)

◎児童生徒の実態把握の重要性と支援に生かすための有効な手段や教員間の共通理解について、ロールプレイを行いながらチームアプローチの大切さを学びました。



関わる先生の視点・観察等多面的にみるのが大切であり、ベストではないけれどベターから始めればよいと感じました。

家族や本人の思いや困り感をよく聞き、受け止めていくことが大切であると感じました。

※地域の先生方の感想より

講座4 学習障がいの特性理解と支援について

元 岐阜市立小中学校主幹教諭 神山忠先生

8月17日(火)

◎長年特別支援教育の現場で児童生徒の指導、支援に当たってみえた先生から学習障がいの特性理解と支援について演習を行いながら児童生徒の困り感などについて学びました。



一人一人を大切に支援することはどういうことか、改めて考えるきっかけになりました。
今後接する子の得意なことを認め一緒にできたらと思います。

どの子どもありのままを肯定的に見つめていくことの大切さを改めて感じました。
「できない」「わからない」を言えない子たちだからこそ、こちらの気づきを大切にしていきたいです。



※地域の先生方の感想より

オンラインでの研修でしたが、地域の先生方に参加していただきました。
来年度は、対面での研修もできるといいなと願っています。